

教育長の退任・就任

3月10日に開催された町議会定例会において、
教育長の任命が、議員全員の賛成により承認されました。



退任のごあいさつ 北川 範之

この度、3月31日をもって教育長職を退任いたしました。教育長として7年6か月、皆様方の温かいご支援をいただきながら、教育行政を推進してまいりました。本当に感謝に堪えません。

顧みますと、義務教育学校を開校したことや新型コロナウイルス感染症の対応に当たったことが、特に心に残っております。

予測不可能な時代の中、これからの社会を担う子どもたちには、変化を取り込みながら柔軟に対応できるよう、生涯にわたって主体的に学び続け自らの人生を舵取る力を身につけることが重要となってまいります。

比布中央学校が義務教育学校になって5年目を迎えます。学校は、9年間の連続性・系統性を踏まえた一貫性のある教育活動を展開し、子どもたちは確実に成長してきております。

私は、これからも比布町の発展や子どもたちの成長をずっと身守り続けてまいります。

終わりに、改めて皆様には、特段のご指導とご鞭撻を賜りましたことに、心から感謝とお礼を申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



就任のごあいさつ 三浦 一路^{かずみち}

この度、4月1日付で教育長に就任いたしました。義務教育学校開校など大きな実績を上げてこられた北川教育長の後を受けるのは、大きな重圧ですが、大好きな町、ご恩のある比布町のお役に立てることは、大きな喜びでもあります。

3月までは、北海道教育庁上川教育局義務教育指導監という立場でしたが、それ以前は33年間学校教育の現場において、子どもたちの成長を支え、見守ってまいりました。平成19年まで当時の中央小学校に6年間在籍し、住民としても比布町に24年間住んでおります。その間2人の子どもを比布町で育てていただき、おかげさまで2人とも比布が大好きな大人に成長いたしました。

私自身、はなはだ微力ではございますが、すべての町民の皆様の生涯にわたる学びを支えるとともに、教育の力を通じて、比布をさらに前へ、充実・発展させられるよう、これまでの経験、これからの学びを生かし、世界一大雪山がきれいに見える町で、子どもたち、教職員にとって世界一幸せな学校を全力でつくり上げてまいります。

町民の皆様から今後も一つずつ学ばせていただきます。どうぞよろしく願い申し上げます。

記念式典を開催*記念誌も発行

祝・比布町文化連盟創立50周年



その後、来賓を代表して村中町長が祝辞を述べ、北川教育長の発声で祝杯。地域文化のさらなる発展を願う節目の式典・祝宴となりました。

「民謡活動を通じて得た多くの出会いと経験は、私の宝物です」と謝辞を述べました。

式典では、連盟発展の功労者として、30周年以降に役員を10年以上務めた5人に感謝状が贈られました。受賞者を代表して佐藤則一さんは、「民謡活動を通じて得た多くの出会いと経験は、私の宝物です」と謝辞を述べました。

愛する思いを次の世代へつないでいきたい」と力強く挨拶しました。

長年にわたり本町の文化振興と交流を支えてきた文化連盟。高野正行会長は「文化を愛する思いを次の世代へつないでいきたい」と力強く挨拶しました。

感謝状受賞者 合田正徳さん・濫谷興二さん・佐藤則一さん・谷越秀子さん・斉藤しづいさん